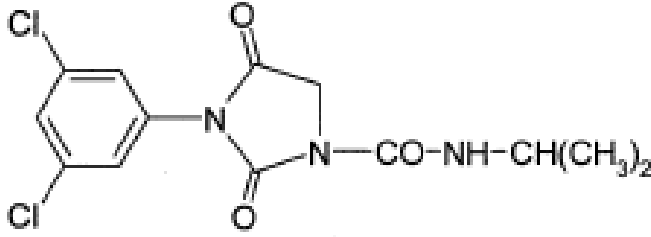


水質汚濁に係る農薬登録基準の設定に関する資料
イプロジオン

I. 評価対象農薬の概要

1. 物質概要

化学名 (IUPAC)	3-(3,5-ジクロロフェニル)-N-イソプロピル-2,4-ジオキソイミダゾリジン-1-カルボキシアミド				
分子式	C ₁₃ H ₁₃ Cl ₂ N ₃ O ₃	分子量	330.2	CAS 登録番号 (CAS RN®)	36734-19-7
構造式					

2. 作用機構等

イプロジオンはジカルボキシイミド系の殺菌剤であり、その作用機構は植物病原菌の細胞膜内において浸透圧信号伝達系をかく乱することにより、病原菌の孢子発芽並びに発芽管及び菌糸の伸長を阻害し、殺菌効果を示すものと考えられている (FRAC : 2^{※1})。

本邦での初回登録は 1979 年である。

製剤は水和剤及びくん煙剤があり、適用農作物等は野菜、果樹、芝等がある。

原体の輸入量は 61.2 t (令和元年度^{※2})、42.8 t (令和 2 年度^{※2})、35.2 t (令和 3 年度^{※2}) であった。

※1 <https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>

<https://www.frac.info/>

※2 年度は農薬年度 (前年 10 月～当該年 9 月)、出典 : 農薬要覧-2022 ((一社) 日本植物防疫協会)

3. 各種物性等

外観・臭気	白色粉末、弱い刺激臭 (23℃)	土壌吸着係数	$K_{F_{OC}}^{ads} = 290-930$ (25℃)
融点	133.4℃	オクタノール ／水分配係数	logPow = 2.99 (25℃、pH3) = 3.00 (25℃、pH5) = 測定不能 (25℃、 pH7)
沸点	沸騰せずに分解するため 測定不能	生物濃縮性	—
蒸気圧	5.0×10^{-7} Pa (25℃) 2.0×10^{-6} Pa (35℃) 4.0×10^{-6} Pa (51℃)	密度	1.0 g/cm ³ (20℃)
加水分解性	半減期 130.7 日 (pH5、25℃) 6.4 日 (pH7、25℃) 27.2 分 (pH9、25℃)	水溶解度	11.5 mg/L (20℃)
水中光分解性	半減期 21.1 日 (東京春季太陽光換算 90.2 日) (滅菌緩衝液、pH5、25℃、267.6-499.2 W/m ² 、250-780 nm) 1.8 時間 (東京春季太陽光換算 14.8 時間) (滅菌自然水、pH7.89、25℃、561 W/m ² 、290-800 nm)		
pKa	解離しない		

Ⅱ－１．安全性評価

一日摂取許容量（ADI）	0.02 mg/kg 体重/日
食品安全委員会は、令和３年１１月２日付けで、イプロジオンの ADI を 0.02 mg/kg 体重/日と設定する食品健康影響評価の結果を厚生労働省に通知した。 なお、この値は各試験で得られた無毒性量又は最小毒性量のうち、最小毒性量の最小値 6.1 mg/kg 体重/日を安全係数 300（種差 10×個体差 10×最小毒性量を用いたことによる追加係数 3）で除して設定された。	

Ⅱ－２．水質汚濁に係る農薬登録基準

登録基準値	0.05 mg/L
以下の算出式により登録基準値を算出した。 ¹⁾	
$0.02 \text{ (mg/kg 体重/日)} \times 53.3 \text{ (kg)} \times 0.1 \text{ (10\%配分)} \div 2 \text{ (L/人/日)} = 0.053 \dots \text{ (mg/L)}$	
ADI	体重 10 %配分 飲料水摂取量

¹⁾ 登録基準値は、体重を 53.3kg、飲用水を 1 日 2L、有効数字は 1 桁（ADI の有効数字桁数）とし、2 桁目を切り捨てて算出した。

<参考> 水質に関する基準値等

(旧) 水質汚濁に係る農薬登録保留基準 ¹⁾	3 mg/L
水質要監視項目 ²⁾	なし
水質管理目標設定項目 ³⁾	なし
ゴルフ場指導指針 ⁴⁾	3 mg/L
WHO 飲料水水質ガイドライン ⁵⁾	なし

¹⁾ 平成 17 年 8 月 3 日改正前の「農薬取締法第 3 条第 1 項第 4 号から第 7 号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件」（昭和 46 年 3 月 2 日農林省告示 346 号）第 4 号に基づき設定された基準値。

²⁾ 水質汚濁に係る要監視項目として、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされた物質に係る指針値。

³⁾ 水道法に基づく水質基準とするには至らないが、水道水質管理上留意すべき項目として設定された物質に係る目標値。

⁴⁾ 「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水域の生活環境動植物の被害防止に係る指導指針について」（令和 2 年 3 月 27 日付け環水大土発第 2003271 号環境省水・大気環境局長通知）において設定された水濁指針値。

⁵⁾ Guidelines for drinking-water quality, fourth edition

Ⅲ. 水質汚濁予測濃度（水濁 PEC）

1. 製剤の種類及び適用農作物等

農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp>) によれば、本農薬は製剤として水和剤及びくん煙剤があり、適用農作物等は野菜、果樹、芝等がある。

2. 水濁 PEC の算出

（1）非水田使用時の水濁 PEC（第 1 段階）

非水田使用時において、PEC が最も高くなる使用方法（下表左欄）について、第 1 段階の PEC を算出する。算出に当たっては、農薬取締法テストガイドラインに準拠して下表右欄のパラメーターを用いた。

PEC 算出に関する使用方法		各パラメーターの値	
適用農作物等	芝	I : 単回・単位面積当たりの有効成分量 (有効成分 g /ha) (左欄の最大使用量に、有効成分濃度を 乗じた上で、単位を調整した値)	10,000
剤 型	30.0%水和剤	N_{app} : 総使用回数 (回)	8
当該剤の単回・単位 面積当たり最大使 用量 ※算出値	3,330 mL/10a (300 倍に希釈 した薬液を 1m ² 当たり 1L 使用)	D_{river} : 河川ドリフト率 (%)	0.2
		Z_{river} : 河川ドリフト面積 (ha)	0.11
地上防除/航空防除 の別	地上防除	R_u : 畑地からの農薬流出率 (%)	0.02
使用方法	散布	A_p : 農薬使用面積 (ha)	37.5
使用回数	8 回	F_u : 施用方法による農薬流出補正係数	1

（2）水濁 PEC 算出結果

使用場面	水濁 PEC (mg/L)
水田使用時	適用なし
非水田使用時（第 1 段階）	0.001043…
うち地表流出寄与分	0.001038…
うち河川ドリフト寄与分	0.000005…
合 計 ¹⁾	0.001043 ÷ <u>0.001 (mg/L)</u>

¹⁾ 水濁 PEC の値は有効数字 1 桁とし、2 桁目を四捨五入して算出した。

IV. 総 合 評 価

水濁 PEC は 0.001 mg/L であり、登録基準値 0.05 mg/L を超えないことを確認した。

(参考) 食品経由の農薬推定一日摂取量と対 ADI 比

農薬推定一日摂取量 (mg/人/日)	対 ADI 比 (%)
0.4126	37.4

出典：令和 5 年 10 月 4 日開催の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会資料

<検討経緯>

令和 5 年 12 月 11 日 中央環境審議会水環境・土壌農薬部会農薬小委員会（第 90 回）